

「地方創生2.0」対話フォーラム@東海・北陸ブロック

三重創生ファンタジスタの取組

三重大学

副理事(学生支援／附属学校担当)・副学長

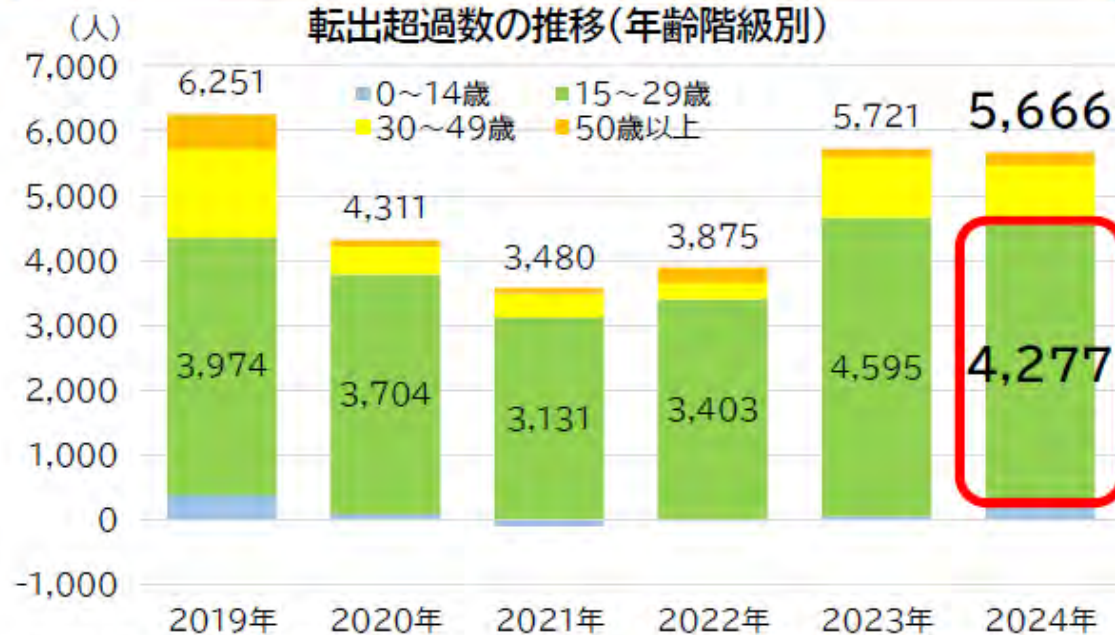
富樫健二

三重県における現状 ～人口流出と人材不足～

- ・ 転出超過数の約8割を15～29歳の若者が占めており、特に若い女性の転出が止まらない状況。
- ・ 県内企業の5割以上が、人材が「不足している」と回答しており、状況はより厳しくなっている。
- ・ この背景にはジェンダーギャップの存在が指摘されており、特に経済分野において本県は深刻な状況。

三重県の人口流出の現状

転出超過数の推移(年齢階級別)



※日本人移動者。マイナスは転入超過数
出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

- ・ 県人口のうち6%を占める
15歳～29歳の女性の転出超過が
全体の4割程度の規模

内訳	男	女
15～19歳	415人	308人
20～24歳	841人	1,404人
25～29歳	775人	534人
総計	2,031人	2,246人

県内企業における人手不足割合



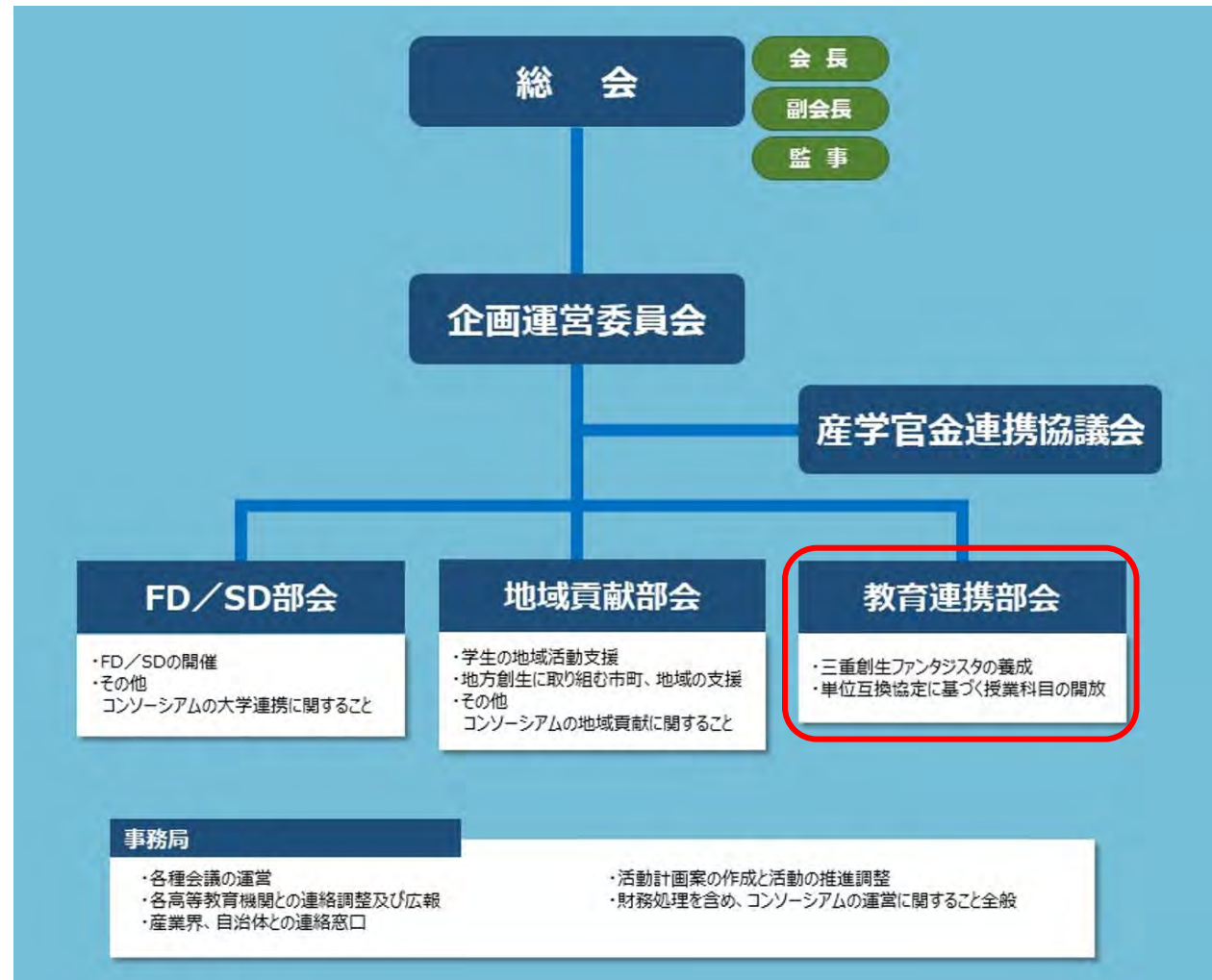
出典：三重県「三重県事業所アンケート」(平成30年度～令和6年度)

県内企業における業種別の人手不足の状況



出典：三重県「三重県事業所アンケート」(令和6年度)

高等教育コンソーシアムみえ



三重県内14の高等教育機関
＋
三重県

文科省が推進した「地方創生」
を目的とした大学支援事業
(COC+)をきっかけに創設

三重創生ファンタジスタ アドヴァンス資格(平成28年より)

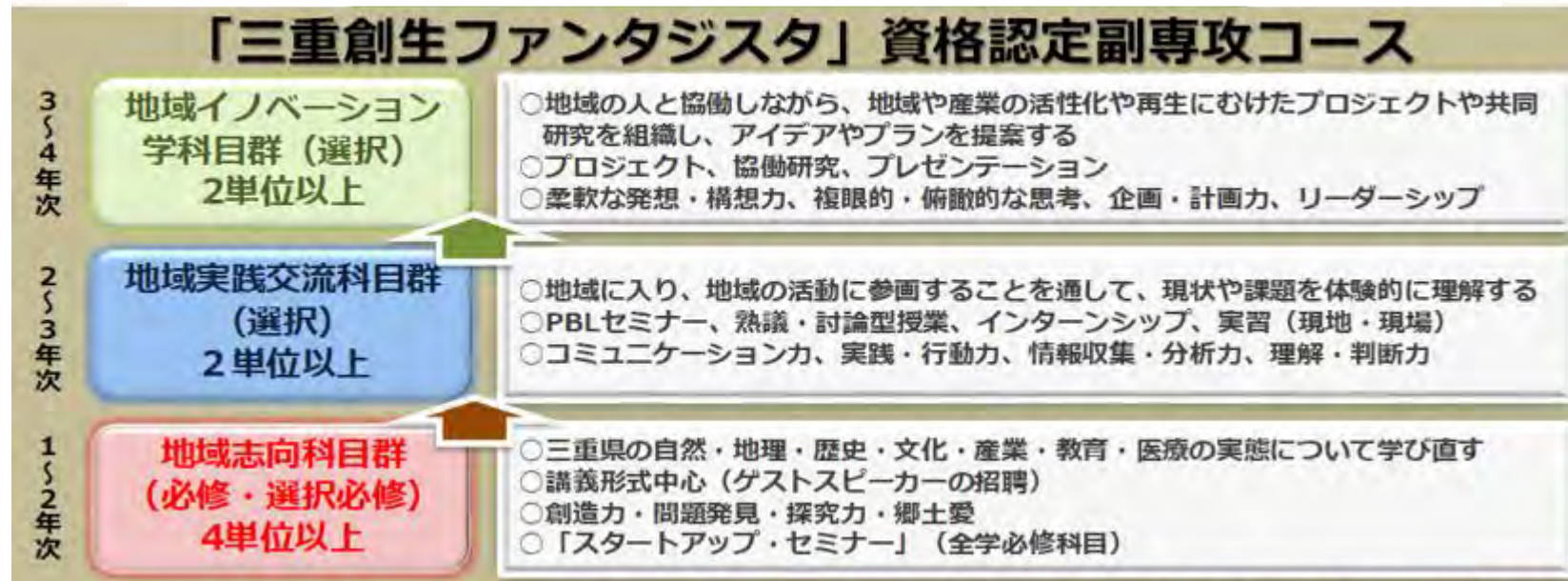
地域の課題に関して様々な
主体と多面的な視点から対話
しながら、地域のイノベーショ
ンを推進できる人材を育成

地域イノベーションを創出・推進

地方創生のエンジンとして活躍

三重創生ファンタジスタ

必要な単位を修得



希望分野を選択

食と観光

次世代産業

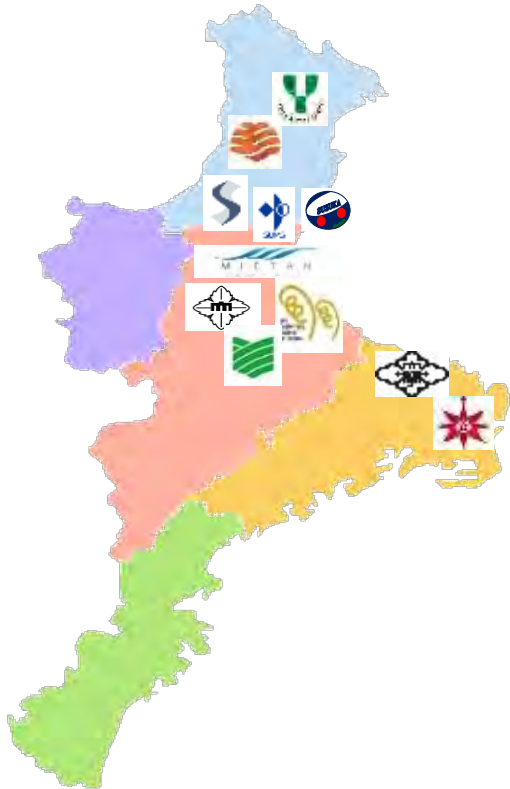
医療・健康・福祉

人文・社会・公共

教育

三重大学での
履修イメージ

三重創生ファンタジスタ資格の拡大と充実



地域的な広がりと教育プログラムとしての深まり

エキスパート

高度な社会人基礎力を備え、
地域課題の解決に主導的に
取り組み、地域イノベーション
を創出することができる

＜5高等教育機関＞ R1～
三重大学、四日市大学、皇學館大学、
鈴鹿大学、鈴鹿医療科学大学

アドヴァンス資格をベースに
実際の地域活動を評価
書類選考、面接評価

アドヴァンス

ベーシックで得られた地域への
深い知識に加えて、地域が抱え
る固有の課題（食と観光分野、
次世代産業分野、医療・健康・
福祉分野）に対して、他者と協
働して解決策を提案できる

＜5高等教育機関＞ H28, H30～
三重大学、四日市大学、皇學館大学、
鈴鹿大学、鈴鹿医療科学大学

地域に関わる授業12単位

ベーシック

三重県の歴史・文化・産業等の特徴を理解し、
地域が抱える課題に対して深く関心を持ち、主
体的な活躍を期待できる

＜11高等教育機関＞ 平成29～
四日市大学、皇學館大学、鈴鹿大
学・鈴鹿大学短期大学部、鈴鹿医
療科学大学、三重県立看護大学、
四日市看護医療大学、三重短期
大学、高田短期大学、鈴鹿工業高
等専門学校、鳥羽商船高等専門
学校

地域に関わる授業6単位

授業内容：三重の歴史と文化、三重の産業、食と観光実践、次世代産業実践

● 三重の歴史と文化(座学)

テーマとゲストスピーカー(一部)

- ・「文化史的見地から見た近世の伊勢」
太田光俊 氏
(三重県総合博物館 学芸員)
- ・「江戸時代における伊勢商人の活躍」
竹川裕久 氏
(射和文庫館長)
- ・「熊野地域を中心とした文化観光」
伊藤文彦 氏
(斎宮歴史博物館) など



令和7年度は県の魅力や課題を発信できることを到達目標とし、自身の興味関心を結びつけ自分事として考えるワークを複数回取り入れた。授業をより深く理解するためペアディスカッションで学びの振り返りや発信を行い、基礎的知識を身につけた。

● 三重の産業(座学)

テーマとゲストスピーカー(一部)

- ・「空飛ぶクルマ」
北出俊哉 氏
(三重県庁)
- ・「三重県南部漁村地域の漁業」
橋本純 氏
(有)友栄水産 代表取締役)
- ・「医療情報と起業」
川中普晴 氏
(三重大学 教授)
- ・「学内起業について」
鳥田 莞太 氏
(株)プロジェクトM 代表取締役) など



農業・漁業・観光から最先端技術まで、三重の産業を幅広く学んだ。講義に加えてワークを取り入れ、学んだ内容をキャリアや将来と結びつけて考える工夫を行った。



● 医療・健康・福祉実践(集中)

R6, R7年度は名張市をフィールドとして、4日間の現地学習型集中講義を実施。

【授業概要】

- ・鈴鹿医療科学大学の河尻先生による医療の概要講義
- ・名張市内の地域のクリニックの施設見学
- ・名張市地域包括支援制度「まちの保健室」見学
- ・名張市地域おこし協力隊による講義
- ・すごろくの盤面を製作するグループワーク



名張市の方々をはじめ先生、仲間と幸せな時間を過ごすことができました。市として取り組んでいることを次世代の私たちが異なる観点から考え、意見を共有できたことが1番の収穫だと思います。

● 次世代産業実践(集中)

次世代のデジタル産業について、三重大学CeMDSにて4日間の集中講義を実施。

【授業概要】

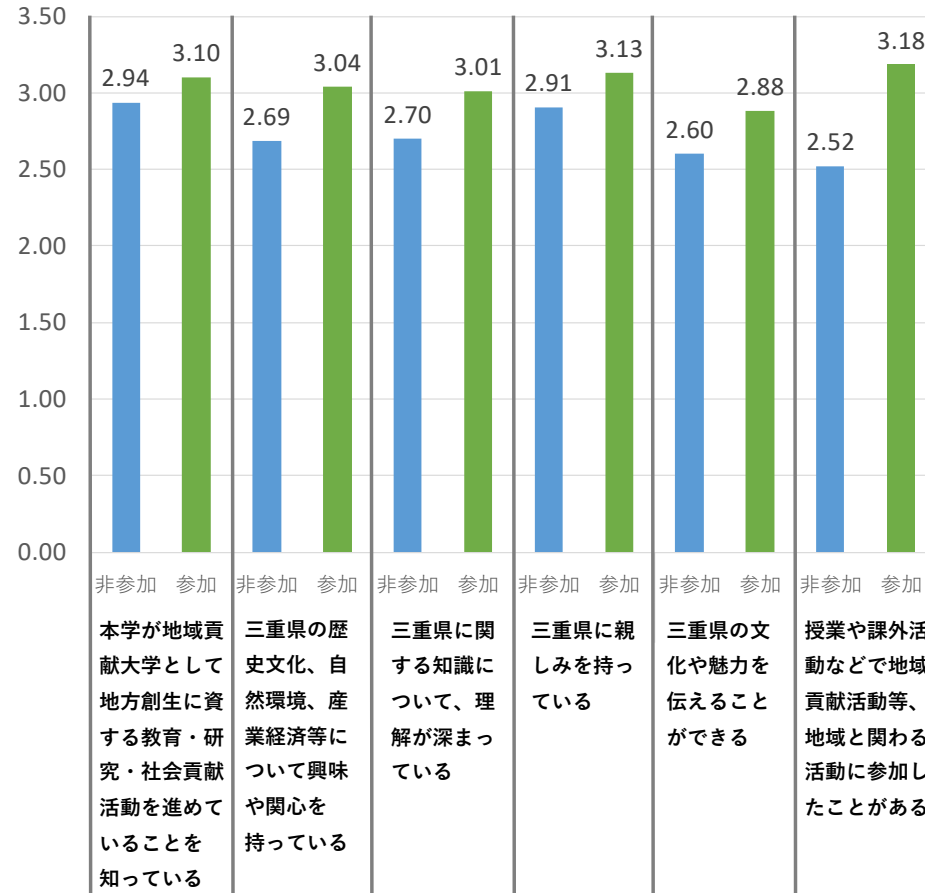
- ・三重大学リスクマネジメントセンター三橋先生による概要講義
- ・3Dキャドで製作したモデルを3Dプリンターで印刷
- ・VRゴーグルとドローンの体験
- ・プロ用の動画編集ソフトを使用したプレゼン資料の作成
- ・AIによる音楽、画像の生成



様々な技術が開発されているのは知識としてはありましたが、実際に使ったり利用したりしたのは初めてで、改めて時代に取り残されないように使えるツールは積極的に取り入れたいと思いました。

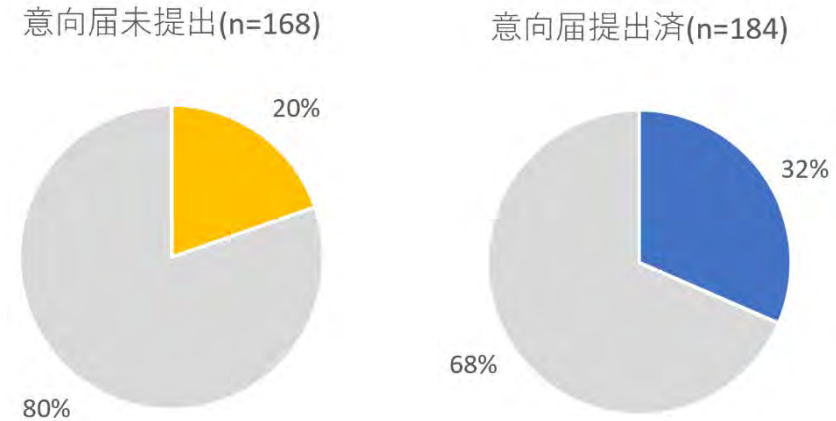
教育プログラムと学生の地域に対する意識、県内就職

COC+オリジナル授業およびイベント参加者の
三重県に対する意識調査の結果



参加者は非参加者と比べて、三重県に対する意識が高い

三重創生ファンタジスタ資格を取得しようとしている
学生としていない学生の県内就職率の比較



三重創生ファンタジスタ資格を取得しようとしている学生の県内就職率が高い

教育プログラムが三重県に対する意識の高い学生
や県内就職を希望する学生のニーズを満たしている

「三重創生ファンタジスタ」については、県内企業や自治体も加わり、オール三重体制で育成・支援を行っています。

下記の企業等は、新卒採用の募集要項の中に、提出書類の例として三重創生ファンタジスタ資格の証明書を記載している県内企業で（掲載申込順）

- （「[（様式1-1）エントリーシート（PDF）](#)」）の中に三重創生ファンタジスタ資格の取得状況の記載欄があります。

- ◆ 株式会社 光機械製作所
- ◆ I C D Aホールディングス株式会社
- ◆ ノリタケ伊勢株式会社
- ◆ 株式会社 アサブリホールディングス
- ◆ 万協製薬株式会社
- ◆ 株式会社 鈴工 (令和4年度追加)
- ◆ 株式会社 安永 (令和4年度追加)
- ◆ 株式会社 大栄工業 (令和4年度追加)
- ◆ 株式会社 三重電子計算センター (令和4年度追加)
- ◆ 井村屋グループ株式会社 (令和4年度追加)
- ◆ 株式会社 ミエデンシシステムソリューション (令和4年度追加)
- ◆ 株式会社 ナルックス (令和5年度追加)
- ◆ 三重県厚生農業協同組合連合会 (JA三重厚生連) (令和5年度追加)
- ◆ 株式会社デンソーパワートレインテクノロジー (令和5年度追加)
- ◆ 辻製油株式会社 (令和6年度追加)
- ◆ エステートケミカル株式会社 (令和6年度追加)
- ◆ 株式会社メディカルー光 (令和6年度追加)
- ◆ キクカワエンタープライズ株式会社 (令和6年度追加)
- ◆ 宇野重工株式会社 (令和6年度追加)
- ◆ 交洋ホールディングス株式会社 (令和6年度追加)
- ◆ 株式会社ZTV (令和6年度追加)
- ◆ 株式会社小杉食品 (令和6年度追加)
- ◆ トランスシティコンピュータサービス株式会社 (令和7年度追加)

募集要項 条件や申請方法など、詳細ページをご覧ください。 令和2年 月 17日(金)まで 上層 100万円	助成成績 大学などに卒業後、就業し、過労死などの不幸な果が起きた場合に、その年の年収に相当する助成金を支給します。	県 奨学金・返還額の一部を助成しています！ 日本学生支援機構第1種奨学金またはこれに準じた奨学金受給者、普通奨学金またはこれに準じた奨学金受給者、就職先企業との間で、三重県と協定を結ぶことにより、三重大学や地産地消に関する教育プログラムを受けた学生に資格認定を行います。	県民生活 地域で活躍する人材を育て、県内で働くきつむけを支える。 「三重創造ファンタジスタ資格」は、県民の特色を深く知り、地域課題解決に尽力する人材です。 地域について学びが授業やフィールドワークなどを通して、三重大の魅力や地域課題に触れる教育プログラムを修めた学生に資格認定を行います。	目的 県内で活躍する人材を育て、県内で働くきつむけを支える。 「三重創造ファンタジスタ資格」を認定しています！	高専教育センターから 取り組み 「単位互換協定」を結び、授業科目を開放しています！ 教育課程の充実や幅広い視座を持つ女性を育成している学校以外へ授業を受講するために、幅広い学生の裾野を広げることができます。今年度は、7校で43科目が開放されています。
---	--	--	---	---	---



地域理解のためのフィールドワーク
を実施（南伊勢町）



「地域歴史とみかん」での体験学習
（紀南高校）



● 地域の中で、チーム
ワークし、能力を身
につける。

● 様々な出会いや交流
から、自分の生き方
や考え方を見つけて
いく。

実施している高校

- 白山高校（津市）
- 阪南高校（松阪市）
- 郡学高校（大正町）
- 南伊勢高校 南勢校舎（南伊勢町）

● 南伊勢高校 度会校舎（度会町）
- 鳥羽高校（鳥羽市）
- 志摩高校（志摩市）
- 水産高校（志摩市）
- おけけの学園高校（伊賀市）
- 紀南高校（南伊賀町）

目的

● 体験学習などを通じて、
生徒自ら考え実行する力を育む

● 高校生が地域の人々と関わり合いながら、
地域の魅力を知り、課題の解決をめざす学習を、
県立高校9校で10校以上実施しています。

● 学習にあたり、
コディネーターが
高校と地域の間に入り、
地域の人材・資
源をつながけています。

**「地域の中で、
育っています！」**

● 県立高校
9校が
取り組む
「地域の中で、
育っています！」

● 県立高校
9校が
取り組む
「地域の中で、
育っています！」

三重県の県政情報をお届けします

県政だより

○毎月1日発行 ○毎月第1日曜日 新聞所込

みえ

8

令和元年
(2019)
No.421

みえの未来

- あふれる
若者** 豊富な人材の魅力を
最大限に伝えたい
- おもしろい
みえ** 互いに支え合える
存在をめざして

三重への「誇り」と 「愛情」を育む人づくり

県では、より多くの若者が県内に定着するように、県内高等教育機関（大学、短期大学、高等専門学校）や企業・団体などと連携し、さまざまな取り組みを進めています。

今回は、県内の高等教育機関や人づくりについて紹介します。

地域活動について発表する学生の様子

若者を地域で育でる!

令和元年度6月補正予算

平和への想いを次の世代へ

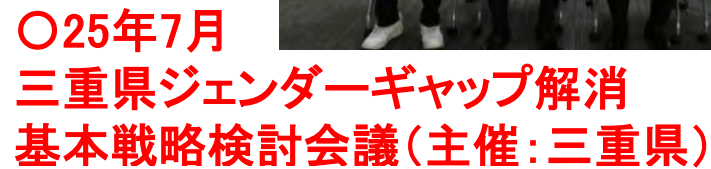
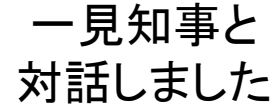
三重県の人口
総人口 1,781,948人
男性 869,827人 女性 912,121人
世帯数 742,866世帯 (令和元年6月1日現在)

県ホームページを
チェック!

●電子ブック版とPDF版の「県政だより みえ」
●「声の三重県だより」 ●県政だより みえ 印刷版

三重創生ファンタジスタ
文部科学省
地(知)の拠点
情報誌
しま
2025
1
Vol.302

○24年9月
県民との円卓会話(主催:三重県)



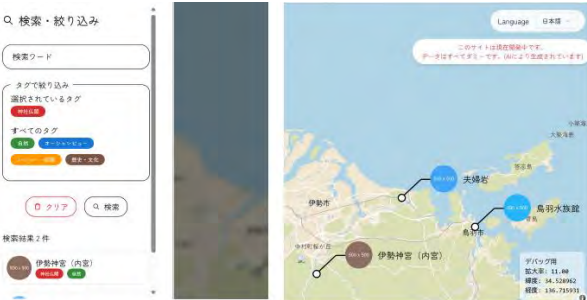
企業の社長や
大学教員と共に
県内の
若手学生の
代表として
参加しました

活動費を支援
頂いているため
JAの方々へ
プロジェクトごとに活動
内容をご報告



○25年1月
「広報しま」に
掲載されました

◎8月23日に行われた「三滝川燈火まつり」では、今年度入った1年生が初めて菰野プロジェクトに参加した同窓であった。当日は、土きりボウスのイベントのお手伝いやチャンドルの燈火大会とまでさせていただいた。天候は良好で、炎天下の中での作業だったが、地域の方々と協力して楽しく作業することができた。「菰人」とかかれたTシャツを着て、みんな1つのことをやり遂げる経験は、部員内の親睦を深めるいい機会でもあったと感じている。



三重創生ファンタジスタ紹介動画